

会派幹事長の 新年の抱負

みやざわ ひろゆき
宮澤 宏行
〒152-0023
八雲2-25-12
☎3724-8209
都環/区特

しみず まさき
清水 まさき
〒153-0063
目黒2-15-12
☎6412-8256
企総/区特

おのせ やすひろ
おのせ 康裕
〒153-0051
上目黒4-21-8
☎3792-5199
生福/区特

あした なる
佐藤 昇
〒152-0001
中央町1-3-7
☎3712-0399
文教/議運

あかぎ ゆたか
赤城 ゆたか
〒153-0052
祐天寺2-19-10
☎3793-0567
文教

そうだ じろう
そうだ 次郎
〒153-0053
五本木2-6-9
☎3760-4031
企総/議運

たじま けんじ
田島 けんじ
〒152-0032
平町2-16-4-101
☎3723-2829
生福/区特

いいた みちこ
飯田 倫子
〒152-0033
大岡山1-27-8
☎3717-3760
都環

いその こうぞう
いその 弘三
〒153-0051
上目黒3-21-28-205
☎5725-1388
生福/議運

くりやま よしじ
栗山 よしじ
〒152-0035
自由が丘2-6-19
☎3717-3225
文教

ほしもと きんいち
橋本 欣一
〒152-0004
鷹番1-5-7
☎3712-0960
都環/議運/区特

いとう よしあき
伊藤 よしあき
〒152-0003
碑文谷1-16-1
☎5724-3031
生福

いまい れい子
今井 れい子
〒152-0002
目黒本町4-13-1
☎3712-6570
企総

じのみや けいきち
二ノ宮 啓吉
〒153-0064
下目黒3-11-10
☎3711-6623
企総

誰もが、安心して暮らせる目黒へ
公明党目黒区議団 幹事長 武藤 まさひろ
新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしく願い申し上げます。
昨年末の衆議院選と都知事選により、新たな出発となりましたが、現状を取り巻く社会環境は、喫緊の課題が山積となっており、私たち公明党区議団にも、年金だけでは暮らしが厳しい、保育園に入ることができない、介護施設への入所や住まいのご相談を数多く頂いております。
東日本大震災から2回目の冬を迎えますが、今なお約2,700名の方が行方不明であり、30万人を超える方々が仮設住宅で生活しております。これからも友好都市である気仙沼市・角田市へ復興支援は、継続してまいります。
また、いつ発生してもおかしくない首都直下型地震から、区民の生命、財産を守るための整備にも取り組んでいかなければなりません。公明党は、全国各地で「防災・減災総点検」を実施し、災害に強い街づくりを進め、老朽化した社会インフラの再構築などハード面での対策と、防災教育・防災訓練の推進などソフト面での対策を組み合わせた「防災・減災ニューディール」政策を、国と一体化して推し進めていくことが重要と考えております。
これからも公明党目黒区議団は、現場からの声を大切にしております。

かわはら のぶあき
川原 のぶあき
〒153-0051
上目黒3-41-12-103
☎5734-1152
都環

さとう ゆたか
佐藤 ゆたか
〒153-0063
目黒1-24-16-901
☎3779-5205
生福/区特

かづよ 和代
いじま 和代
〒153-0065
中町2-5-1
☎3760-5800
文教

やまみや きよたか
山宮 きよたか
〒152-0031
中根2-5-7-1001
☎3723-8851
企総/議運/区特

せき けんいち
関 けんいち
〒152-0002
目黒本町5-30-21
☎3791-3953
文教

むとう まさひろ
武藤 まさひろ
〒152-0023
八雲4-5-20
☎3718-8234
生福/議運

財政再建は道のり半ば

自由民主党目黒区議団 幹事長 橋本 欣一
皆様ご健勝で新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。
年末にはこの地域における衆議院の議席を奪還することができました。今後は取り戻した区・都・国の情報伝達ラインを活用し、さらなる区政発展に貢献できるよう尽力してまいります。
さて、目黒区では本年度から3年間の予定で、財政再建の道を歩んでおります。我が会派は、安定した財政基盤の構築のため、スクラップ&ビルドを徹底させ、各施策や区有施設の見直し、職員定数の適正化などについて、生活への影響に配慮した財政健全化を区に求めています。また、スクラップだけでなく税外収入の確保や未来を開く投資を行い、知恵と工夫によりサービスを低下させない区政の運営、特に、少子高齢化、福祉、教育、環境、経済などの施策には果敢に取り組み、安心・安全な街づくり、区の魅力の発信や情報公開の強化を求めています。
東日本大震災以来、区民の防災意識は向上していますが、区の対応はまだ十分とは言えません。今回、地域防災計画の修正案がまとまりましたが、さらなる防災への取り組み、地域社会での絆の構築にも尽力してまいります。
結びに、皆様のご多幸をご祈念申し上げ、年頭のご挨拶と致します。

議員個人による年賀状など時候のあいさつ状は、公職選挙法により禁止されています。
新年のごあいさつは、本紙をもって代えさせていただきます。

委員会名の略称	企総＝企画総務委員会 都環＝都市環境委員会 議運＝議会運営委員会	生福＝生活福祉委員会 文教＝文教・子ども委員会 区特＝区有施設等調査特別委員会
---------	--	---

よしの まさと
吉野 正人
〒152-0023
八雲2-18-5
☎3725-8973
文教/区特

こうの あかね
香野 あかね
〒152-0003
碑文谷6-1-18-103
☎3716-5987
生福/区特

かもした りえ
鴨志田 りえ
〒153-0051
上目黒3-20-6
☎3715-7313
都環

きむら ようこ
木村 洋子
〒152-0004
鷹番2-21-10-504
☎3760-1617
企総/議運

あおき さなえ
青木 早苗
〒152-0011
原町2-7-11
☎3716-0206
都環

原点に立ち、立て直しの区政を 刷新めぐろ 幹事長 木村 洋子

謹んで新年のお慶びを申し上げます。昨年末の総選挙で、政権交代という大きな結果が民意として示されました。12もの政党が乱立し、政治の混迷が心配される年明けとなりました。国政調査(2010年)によると、今から50年後の日本の人口は8,700万人となり、急激な人口減少が避けられず、2015年には65歳以上の高齢者人口の占める比率は、人口全体の26パーセントに達するとみられています。安心して子どもを産み育てられる目黒にしてゆくことを目指し、人口構成のバランスを保てる社会が年金や社会保障制度の健全な運営を守るという原点を再認識し、財政の立て直しに全力で取り組んでゆく年にしたく、「原点に立ちかえる年」と心に決めてまいります。
昨年、どんぐりを拾い、送った「森の防潮堤づくり」(福島県南相馬市いのちを守る復興支援事業)に、今年も苗木を育て、植樹活動を行ってまいります。
平成25年の目黒区が変革の渦の中に巻き込まれないよう、区民生活の安心を確立するために国の動き、制度変化に迅速な対応ができるよう、防災に対しても安全の確保、暮らし、いのちを守るため全力を尽くし、子どもや孫の将来に負担を残さないよう、財政の確保に管理運営のチェックに努めてまいります。

いが やすお
伊賀 やすお
〒153-0063
目黒2-4-28-1101
☎080-4668-7762
企総

あきもと かおる
秋元 かおる
〒152-0023
八雲1-4-6-3F
☎6303-1924
文教/議運/区特

まつと 哲也
松田 哲也
〒153-0053
五本木3-20-2
☎6412-8041
生福

次世代に誇りある 目黒を引き継ぐ改革を進める。

みんなの党目黒区議団 幹事長 秋元 かおる
みんなの党目黒区議団を代表し、謹んで新年のお祝辞を申し上げます。一昨年に産声を上げたばかりのみんなの党目黒区議団は、旧年中も区民の皆様にとにかく丁寧な厚情を賜り、誠にありがとうございました。昨年は区政施行80周年を迎えた目黒区ではありますが、「公の施設利用料の改定」等により区民の皆様には負担を強いる事となりました。将来に目を転じてみると、修繕や大規模改修、建て替え等の改築経費など今後10年間で約511億円が試算されており、目黒区財政に重い負担がのしかかる事が想定されています。我が会派は、財政再建を実現するために、「税外収入の確保策」や「区民負担を強いる前にやるべき事があるだろう」という考えから、議員定数を36人から32人に削減する「議員定数削減条例」を議員提案すること等、行政の経費削減に対する具体的な提案を行ってまいりました。
20年の後に、区政施行100周年を迎える将来の区民に誇りある目黒を引き継ぐため、みんなの党目黒区議団は、目黒区の福祉向上のために「ブレない、曲げない、崩れない」という精神で全力を尽くしてまいります。本年も相変わらず区民の皆様からの、ご指導及びご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

ほしみ てい子
星見 てい子
〒152-0033
大岡山1-19-6
☎080-5680-4531
都環

いしかわ きょうこ
石川 恭子
〒153-0052
祐天寺2-19-15
☎3711-9735
文教

いわさき ふみひろ
岩崎 ふみひろ
〒152-0002
目黒本町6-4-1405
☎3713-6800
企総/議運

もり よしひこ
森 美彦
〒153-0044
大橋1-7-2-101
☎3496-4704
生福/区特

きかもと ふみこ
坂本 史子
〒152-0001
中央町1-8-11-405
☎3715-1064
都環/議運

すどう 甚一郎
須藤 甚一郎
〒152-0034
緑が丘1-11-3
☎3723-8167
企総/区特

**区民生活支える行政の役割は重要
後退ではなく拡充を！**
日本共産党目黒区議団 幹事長 岩崎 ふみひろ
昨年の総選挙は、公約違反を重ねた民主党政権への国民の怒りが噴き上がり、自公政権の復活という結果になりました。しかし、新しい政治を求める国民・区民のみなさんの模索は依然、続いています。引き続き、消費税増税中止、原発即時廃止、TPP阻止、憲法を守る取り組みを進めていきます。
現在、目黒区は財政が厳しいことを強調し利用しながら、行政の役割を次々と手放そうとしています。その中心は福祉、子育て、男女平等共同参画、住区会議室など区有施設の大規模な統廃合と、福祉、子育てを含めた行政の仕事の民間への丸投げです。昨年11月には区立保育園の7園をターゲットに、「区立」を放棄して完全民営化を行う方針を示しました。「経費削減」をさらに進めようというのですが、結局、行政の責任を手放せば手放すほど、かえって区民の要求とかけ離れ、区民や民間の力さえ引き出すことができなくなってしまいます。
大型再開発促進ではなく、建物の耐震強化など大地震から区民のいのちと財産を守ること、特養ホームの建設など介護対策の拡充、保育園の待機児解消など、区民生活を支えるために地方自治体としてやるべきことがしっかりとやれる区政実現に向け、引き続き力を尽くしていきます。

うめはら たつろう
梅原 たつろう
〒153-0041
駒場1-40-11
☎3468-5086
文教

**無所属・目黒独歩の会は
今年も区政改革に邁進します**
無所属・目黒独歩の会 幹事長 坂本 史子
まず放射能の問題だ。食材検査、給食丸ごと検査、砂場の砂検査など、今後も充実させたい。加えて、日常にあふれる合成化学物質について子どもの健康を守る総合的な対策が必要である。
そして、177の施設の「統廃合計画」についてだ。区民施設がなんたるかも分からない検討委員会が、「事業仕分け」をやるなんてもってのほかだ。これこそ議会がやるべき仕事である。
一方で、大変な思いで認可保育園の空きを待っている保護者と子どもがいる。働き続けたい、働き続けなくてはやっていけない、保護者らの叫びがここにもある。この逼迫している保育施設に、施設を転用して緊急に対応すべきだ。
さて、歴史的低投票率に終わった昨年の衆議院選挙。ところが、原発再稼働、憲法9条「改正」、消費税値上げの3項目だけでも、これに反対する世論と国会の多数派とはすでにねじれ、ずれまくっている。そしてわが東京5区小選挙区でも7割の票が「死票」となって葬り去られた。この民意を反映しないダメな制度も変えなくてはならない。私たちは地域で区民の皆さんとともに行動し、全国の無所属の仲間と政治改革に向け、今年も邁進してまいります。

無会派
ひろよし あつこ
ひろ吉 敦子
〒152-0003
碑文谷6-1-19-1F
☎3791-8069
都環